



京都市立学校ホームページ「京都市立学校」で検索していただくと市立学校すべてのHPが閲覧できます

冬休みを迎えるにあたって

記録的な猛暑の中始まった2学期もすっかり寒くなり、もう終わろうとしています。この数か月、ただ季節が変わってただけでなく、皆さんには大きく成長してくれました。2学期は多くの行事がありました。様々な行事を全学年で行うなか、3年生が最高学年として立派に1、2年生を引っ張ってくれました。

さて、冬休みが明けると今年度最後の学期が始まります。年度の締めくくりです。1月に新年を迎える際、皆さんには気持ち新たに「今年もよい年にしよう」と願うと思います。その前に4月に立てた今学期の目標を振り返りながら、この12月気持ちを引き締め、新年そして、最後の学期を迎える準備をしてください。



11/22 Plan Do See 社長 浅羽 翔平様
アクセンチュア株式会社 小山 未裕様
シドニーオリンピックソフトボール銀メダリスト 田本 博子様
をお招きして、「人と言葉を大切に」をテーマに講演をいただきました。

新生徒会本部発足

5日（火）に生徒会役員選挙が行われ、新しい生徒会本部が誕生しました。小演説会で公約を説明し、地道に選挙活動を続けて行われた立会演説会。立候補者のみなさんは全校生徒の前で緊張しながらも堂々と演説をしてくれました。惜しくも落選した人もいましたが、「桂中学校をよくしていこう！」と立候補したことが大変素晴らしいことだと思います。18日（月）には新旧生徒会本部の引継ぎ式が行われ、旧生徒会本部から新生徒会本部に正式にバトンが渡されました。新本部のみなさん、旧本部の熱い思いをしっかりと受け継いで頑張ってください。

桂中熱き戦いの軌跡

- ◆税についての作文 京都府租税教育推進連絡協議会代表幹事賞、右京納税協会会长賞
- ◆全国中学生人権作文コンテスト京都大会 京都府人権擁護委員連合会長賞 全国大会推薦作品 京都新聞掲載
京都協議会長賞
- ◆地生連人権標語 最優秀賞 「生き方は 違えどみんな 同じ人」
優秀賞 「気づこうよ 当たり前じゃない やさしさに」、優秀賞 「みきわめろ 差別と区別 ちがうもの」
優秀賞 「考えよう 言われる重さと 言う軽さ」
- ◆京都市中学校総合文化祭美術展共同作品の部 3年学年合唱・3年全クラス・2年13組・2年17組の合唱めぐり係 奨励賞
- ◆京都市児童生徒作品展 風景画「コスモス」姉妹都市交換作品としてフィレンツェへ寄贈されます
他24名 以上 奨励賞
- ◆女子バレーボール 秋季大会 【決勝トーナメント】VS 大宅2-1、VS 四条1-2
- ◆柔道 秋季大会 【男子個人】2位 【女子個人】3位、3位
- ◆剣道 若葉杯（1年生大会）優勝
- ◆サッカー 秋季大会 【決勝トーナメント】VS 京都精華学園0-3
- ◆女子ソフトテニス
【市大会団体】VS 下京2-1、VS 洛西2-0、準決勝 VS 神川1-2 3位
【府大会団体】VS 木津南2-1、V 伊根2-1、準決勝 VS 京都光華0-2 3位 →近畿インドア大会出場（12/28）
- ◆バドミントン 秋季大会
【男子ダブルス】3位 【男子団体】VS 龍谷大平安2-1、決勝 VS 洛星0-3 2位
【女子シングルス】優勝、ベスト8
【女子ダブルス】優勝、2位、3位
【女子団体】VS 大淀2-0、VS 京都聖母2-0、準決勝 VS 蜂ヶ岡2-0、決勝 VS 龍谷大平安1-2 2位
- ◆陸上 【オータムカップ】1年100m 優勝、2年100m 5位、共通200m 優勝、
4×100m R 2位、砲丸投 5位、円盤投 5位、共通200m 8位
【女子府駅伝】6位 【区間】2区4位、3区3位、5区6位
【男子府駅伝】優勝 【区間】1区2位、2区1位、3区1位、4区3位、5区1位、6区2位
→近畿駅伝（12/1）、全国駅伝（12/15）出場

※裏面に全国学力・学習状況調査の本校の分析を載せています。

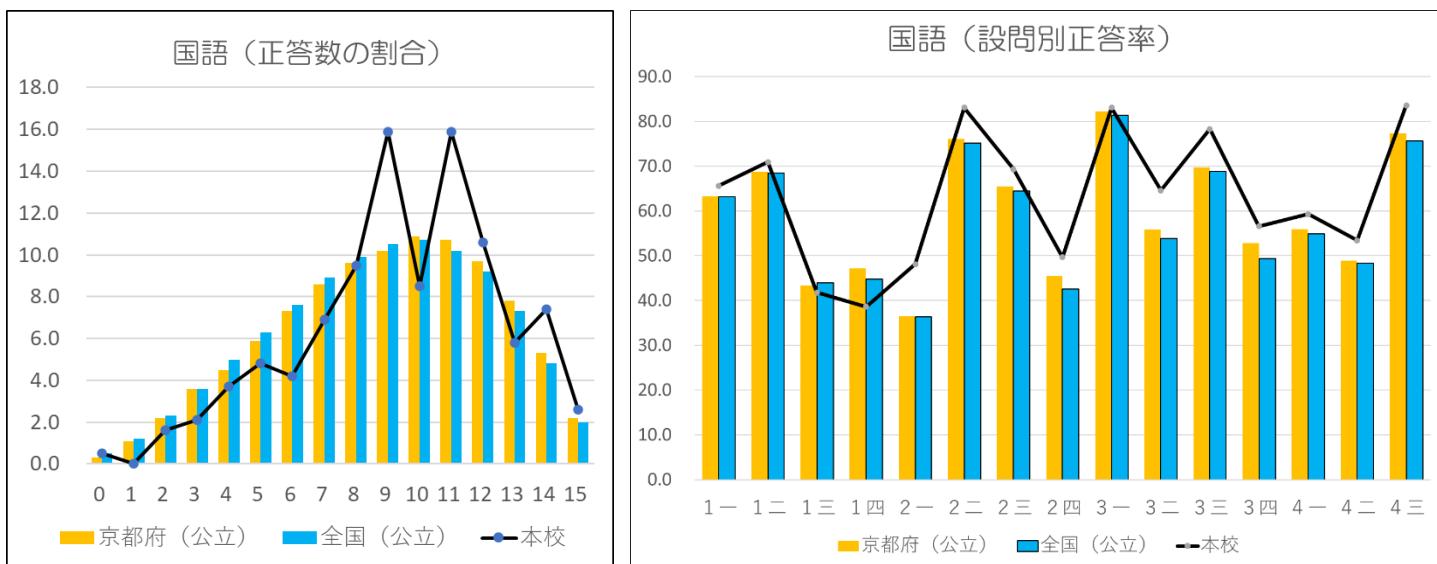


日	曜	①	②	③	④	⑤	⑥	学校・生徒会行事	会議・研修会・保健関係ほか	給食 1 2 3 育	部活動
1	日								給食申込開始		
2	月	①	②	③	④	⑤	月⑤ 月① 月⑤			○	○
3	火	①	②	⑥	学	科学C	④ ⑤ ③	1年科学センター学習(午後)		○	○
4	水	①	②	③	道	⑤	⑥	クリーンキャンペーン		○	○
5	木	①	②	③	水③ 金⑤ 総	④	道 総 総	⑤⑥3年人権学習		○	×
6	金	①	②	③	④	⑤	総 総 ⑤	⑤⑥2年人権学習(講演1体) 音美→金⑥		○	○
7	土										
8	日										
9	月	①	②	③	④	⑤	月② 学			○	○
10	火	①	②	③	④	⑤	⑥		学校預り金引落日	○	○
11	水	①	②	⑤	⑥	総 ③	総 道	⑤⑥1年人権学習(講演1体) 協議・各種委員会		○	○
12	木	①	②	③	④	学	避難 訓練	⑥避難訓練		○	×
13	金	①	②	③	④	総 ⑤ 総	総 総 総	桂輝翔会(1・3年) 音美→金⑥		○	○
14	土										
15	日										
16	月	①	③	④	⑤	/	/	個別懇談会① 完全下校(16:30)	PTA役員会19:00~	○	○
17	火	③	④	⑤	⑥	/	/	個別懇談会② 完全下校(16:30)		○	○
18	水	③	道	⑤	⑥	/	/	個別懇談会③ 完全下校(16:30)		○	○
19	木	①	②	③	④	/	/	個別懇談会④ 完全下校(16:30)		○	×
20	金	③	④	⑤	総	/	/	個別懇談会⑤(3年生予備日) 3年進路希望決定届・修学金予約申請締切 音美→金⑥	完全下校(16:30)	○	○
21	土										
22	日										
23	月	①	②	③	学	集 ④ ④	学 集	⑤1年学年集会(1体) ⑥3年学年集会(1体)、2年学年集会(2体) 個別懇談会⑥(1年生のみ)	進路推薦委員会 16:00~	○	○
24	火	表彰	式	清掃	学	活	/	終業式 表彰 一旦下校 再登校(14:00) 完全下校(16:30)		×	○
25	水							冬季休業開始 予備日①		×	○
26	木							予備日②		×	○
27	金							学校閉鎖日		×	
28	土									×	
29	日									×	
30	月							学校閉鎖日(～1/3)		×	
31	火							学校閉鎖日		×	

令和6年度全国学力学習状況調査の結果

桂中学校 研究・学習指導部

【国語】



全国平均を5ポイントも上回り。好成績だったといえる。文章の読み取りを問われている問題は、全国平均よりも約8ポイントも上回っている。しかし、「話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く」の問題は、全国平均より6ポイント下回っており、話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができることが苦手であることがわかった。普段の会話や授業のグループワークで話している内容や観点を理解して聞き、自分の意見を持つことが大切だと考えられる。

▼正答率が全国平均を下回った設問

1 (三) 話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する。

【出題の趣旨】…意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかを見る。

（四）話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く。

【出題の趣旨】…話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかを見る。

●正答率が全国平均を大きく上回った設問

2 (二) 本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する。

【出題の趣旨】…具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかを見る。

3 (二) 物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する。

【出題の趣旨】…文の成分の順序や照応について理解しているかどうかを見る。

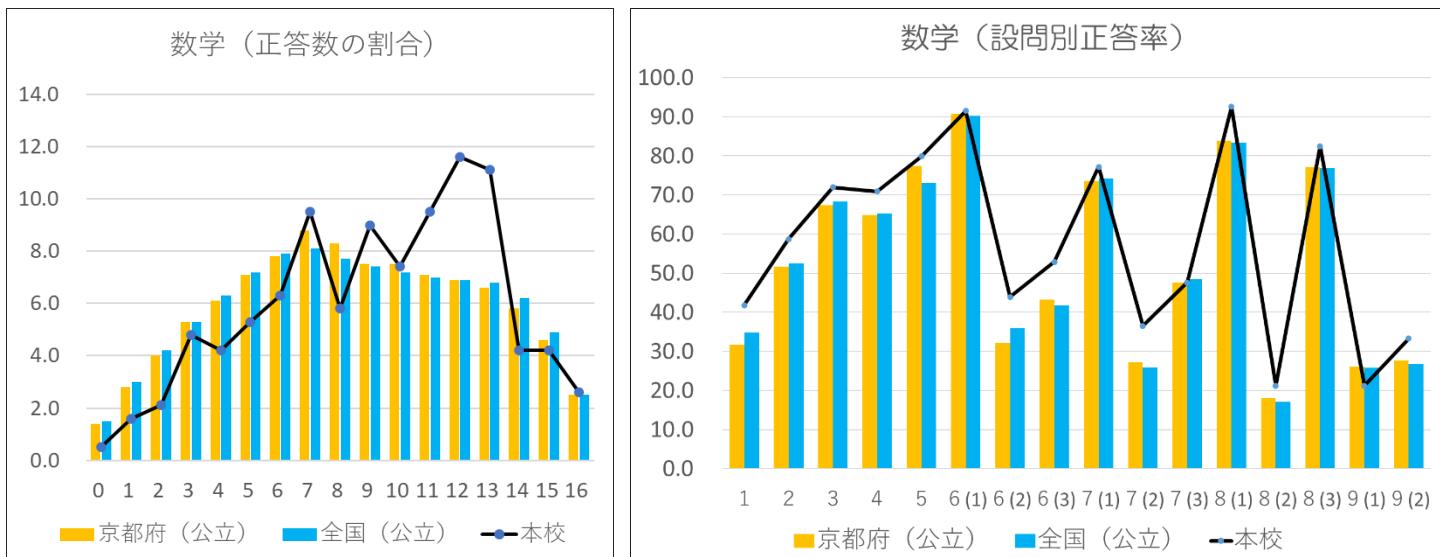
3 (三) 漢字を書く（みちたりた）。

【出題の趣旨】…文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかを見る。

4 (三) 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する

【出題の趣旨】…行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。

【数学】



ほとんどの設問で正答率が全国平均を上回っている。特に計算領域の正答率が高くなっている。苦手になりがちな記述式(説明など)の問題も顕著な下回りを見せなかった。

単元的には「箱ひげ図」が少し弱い傾向が出た。指導が「活用型」ではなく「知識伝達型」の傾向があったと分析(反省)しているところがあり、この結果も納得がいくところである。

▼正答率が全国平均を下回った設問(ほぼ同値)について

- 単元「資料の読み取り」の「箱ひげ図」から情報を読み取る問題。四分位範囲の意味を理解しているかの問題の正答率はそれほど高くなかった。全国平均とほぼ同値。学習時期は2年時の最後。現在の3年担当教員が2年時にも担当しており、箱ひげ図を単発的に学習したような反省をしている。知識学習としては十分に行つたが、活用・継続という意味では弱かったと分析。今後の再学習を検討している。
- 単元「図形」の「合同」に関する問題。それほど低いわけではなかった、これもやや下回った。これは証明の訓練が足りていないと考える。授業者としては、生徒に強い苦手意識があると想像しており、「合同」の学習を再徹底するというよりは、説明力という点で、論理的思考を高めていく取り組みを継続していくことを考えている。

●授業前に、帯学習的に、授業単元とは直接的に関係のない「数学的思考力を高める思考問題」を2年時4月よりずっと続けている。また、家庭学習課題でも「論理的思考問題」を同じくずっと出し続けている。右のような「理由を説明する」などの問題で良好な解答ができると読み取れるが、それが取り組みを通して論理的思考力が高まってきていることに帰するのであればそれはよいことであると考える。ただ、その因果関係は定かではない部分も多々ある。

このことは「数学という教科に対する取り組み姿勢」とも関連があると考えており、知識的な理解の向上に加えて能動的に取り組める生徒の育成を目標にしている。「主体的に取り組む姿勢」を育むためのいくつかの取組が一つこのような結果として表れているのだとすればそれは好材料と言える。質問紙の方の分析結果との照らし合わせができれば、なお、おもしろいと考えた。

問題の概要	
1	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する
20.1	
4.8	
5.2	

問題の概要	
1	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入れた整数の和について予想できることを説明する
51.9	
41.1	
40.2	
11	